

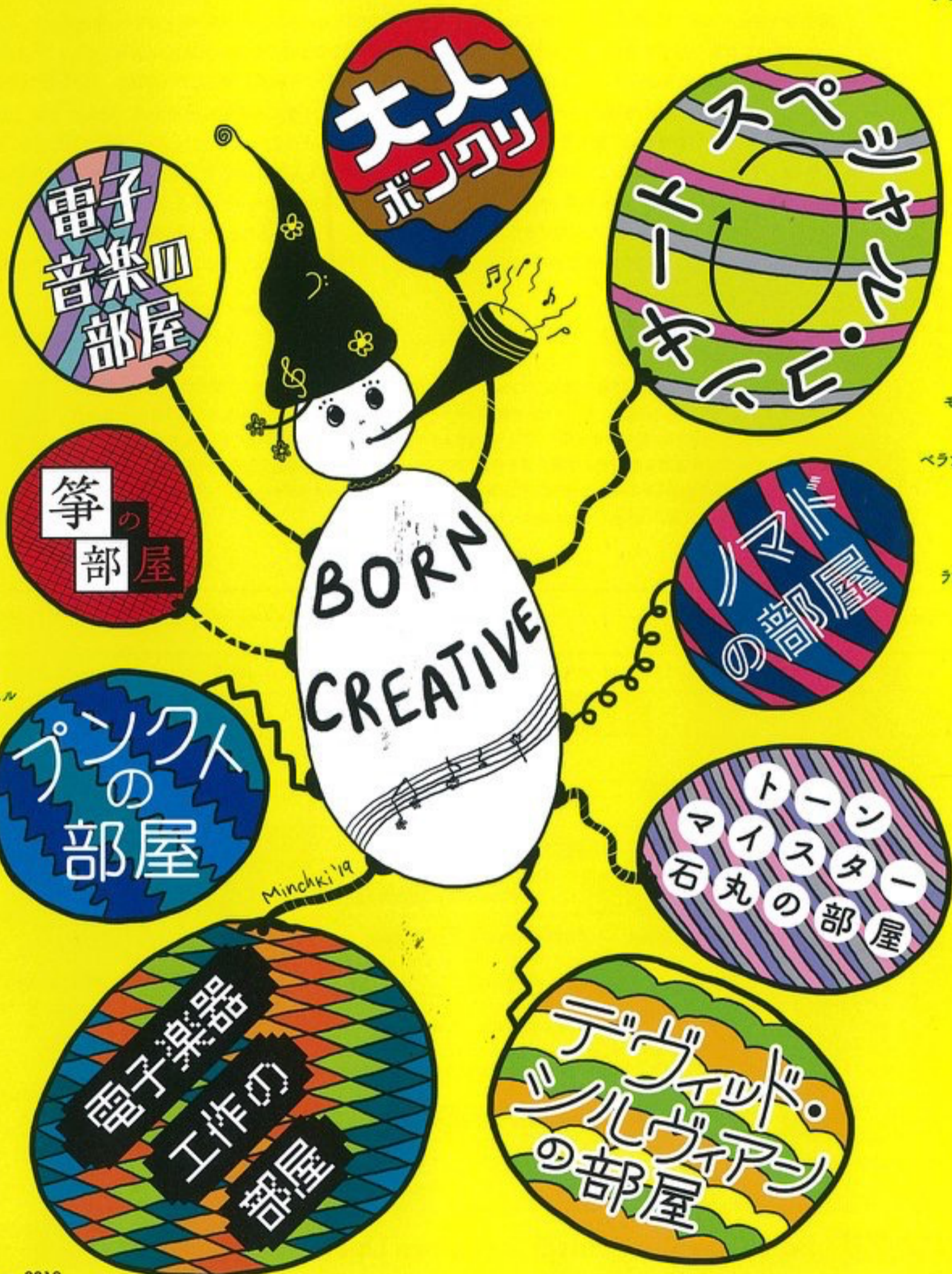
世界中の「新しい音」が聴ける1dayフェス!

ボンクラリ

東京
芸術
劇場

Tokyo
Metropolitan
Theatre

“Born Creative”
Festival 2019



出演

アンサンブル・ノマド
(指揮:佐藤紀雄)
福川伸陽
八木美知依
本條秀慈郎
ヤン・バング
エリック・オノレ
アイヴィン・オールセット
ニルス・ベッター・モルヴェル
大友良英
萩原麻未
東野珠実
藤倉大
永見竜生[Nagie]
... and more!

作曲
牛山泰良
梅本佑利
マリオス・ヨアンノー・エリア
大塚勇樹
大友良英
ジョン・ケージ
クシシュトフ・コメダ
坂本龍一
佐藤亜矢子
塩見允枝子
デヴィッド・シルヴィアン
杉山洋一
高橋悠治
武満徹
田代啓希
壺井一步
デヴィッド・トゥーブ
富田勲
永松ゆか
新美術
ジルベール・ノウノ
扶間美帆
林恭平
檜垣智也
モートン・フェルドマン
藤倉大
ベランジェル・マキシマン
八木美知依
ヤマシタユミ
テリー・ライリー
ランガム・リサーチ・センター
李英姿
渡辺愛
... and more!

アーティストック・ディレクター 藤倉大(作曲家)
Dai Fujikura, Artistic director

9.
28
(土)

Saturday 28 September, 2019
Tokyo Metropolitan Theatre

デイトタイム・プログラム...11:00~19:00
スペシャル・コンサート...14:00開演(13:00ロビー開場)
大人ボンクラリ.....19:00開演(18:00ロビー開場)

東京芸術劇場

www.borncreativefestival.com



Born Creative Festival 2019

1日全部聴けて
S席でも
¥3,000!

この音こそが今聴くのに相応しい! と腑に落ちる、そんな稀有な一日

家に帰ったらすぐ、何か音を鳴らしたくなりました

来年は子供たちも連れていきます

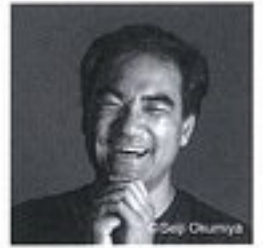
ワクワクしっぱなしの一日でした

「ボーン・クリエイティヴ」、略して「ボンクリ」。
これは、「人間は皆、生まれつきクリエイティヴだ」という意味。
数年前から僕がやっている福島県相馬市での作曲教室では、5歳から高校生までを対象に世界から現代音楽のエキスパートの演奏家を迎えて特殊技法等をみっちり紹介し、その場で子供達が新しい音楽(現代音楽と呼ぶ人も多いかも知れない)の作曲をする。しかもすべての音や指示を楽譜にきちんと記し、自分の作曲した作品をその場でプロの演奏家に演奏してもらう。子供達が作曲中、演奏家は子供達が作品の一部を確認したり、コラボレーションし、アイデアを楽譜にするために待機し、直ぐに試演できるスペシャルな環境を作っている。この作曲教室を何年か継続してわかったことは、全ての人間は子供の頃、「新しい音楽」「新しい音」、そして5歳の子供の言葉を借りると「変な音」が好きだったということだ。なぜかそのクリエイティビティは成長するにつれ、失われていく。この「ボンクリ」は、大人になっても5歳の子供のままクリエイティヴでいる人達の作品を、0歳の子供から大人まで楽しめる新しい音楽に触れるためのイベント。演奏家と共に参加し、一緒に音楽を作るワークショップもあり、即興音楽もあり、日本の伝統音楽である笙や三味線も、エレクトロニクス(電子音楽)も、現代音楽アンサンブル作品もある。丸1日、東京芸術劇場館内に「新しい音楽」が満ち溢れる。一生分、少なくとも1年分の“世界中の新しい響き”を堪能することができるまたとない機会。9月28日は是非芸術へ!

(これまでのボンクリ体験コメント)

藤倉大(作曲家/ボンクリ・フェス2019 アーティスティック・ディレクター)
Dai Fujikura(Composer/Artistic Director)

藤倉大◎1977年大阪生まれ。15歳で渡英しベンジャミンらに師事。数々の作曲賞を受賞、国際的な共同委嘱もますます増えている。2015年3月には、シャンゼリゼ劇場、ローザンヌ歌劇場、リール歌劇場の共同委嘱によるオペラ「ソラリス」が世界初演され、高い評価を得た。2017年にヴェネツィア・ビエンナーレ音楽部門銀獅子賞受賞。2019年に尾高賞、文化庁芸術選奨文部科学大臣新人賞を受賞。2019年は三味線協奏曲(長谷川綾子/本條秀慈郎共同委嘱)、2020年はピアノ協奏曲第4番(Akiko's Piano)(広島交響楽団委嘱)や3作目のオペラの世界初演等が控える。Minabel Recordsを主宰。 <http://www.daifujikura.com>



スケジュール Schedule 2019.9.28(土)

■ デイタイム・プログラム ■ ライヴ・ビューイング(無料イベント)

	10:30	11:00	11:30	12:00	12:30	13:00	13:30	14:00	14:30	15:00	15:30	16:00	16:30	17:00	17:30	18:00	18:30	19:00	20:00	21:00
コンサートホール(5F-7F)						ロビー開場		スペシャル・コンサート										ロビー開場	大人ボンクリ	
ギャラリー1(5F)																ブックの部屋			入退場自由	
ギャラリー2(5F)																				
シンフォニススペース(5F)																				
リハーサルルームL(B2F)																				
アトリウム ボックス オフィス上ステージ(1F)																				
アトリウム ロー広場内 ステージ(B1F)																				
アトリエイスト(B1F)																				
アトリエウエスト(B1F)																				
中継ビジョン (B1F・1F・5F)																				

※やむを得ぬ都合により、スケジュールが変更になる場合がございます。

大人ボンクリ Born Creative Festival for Grown Ups!

19:00開演(18:00ロビー開場) コンサートホール

【プレイベント】 | 事前申込制 |
ジルベール・ノウノによる
上級電子音楽教室
9.26(木) 19:00~21:00
※内容、申込方法など詳細は、ボンクリフェス特設サイトをご覧ください。

参加アーティスト選曲による“出演者なしの電子音楽コンサート” バーコーナーも営業し、ロビーではコンサートの合間に飲食もお楽しみいただけます。
※入場には「スペシャル・コンサート」のチケットが必要です。入退場自由。事前予約不要。※大人ボンクリへの未就学児のご入場はお断りいたします。

デイトタイム・プログラム Daytime Program

11:00~19:00 館内各所

赤ちゃんからシニアまで楽しめるアトリウム・コンサートや様々なプログラムを館内各所でおこないます。

◎誰でも楽しめる! 無料プログラム

アトリウム・コンサート(無料)

出演: 佐藤紀雄(ギター)、東野珠実(笙)、本條秀慈郎(三味線)
会場: 館内各所

ボンクリ精神あふれる音楽が東京芸術劇場の館内を駆け巡ります。

※各コンサートのプログラムなど詳細は、ボンクリフェス特設サイトをご覧ください。

電子音楽の部屋(無料・入退場自由)

11:00~19:00

監修: 檜垣智也 会場: アトリエイースト、アトリエウエスト(地下1階)

アークスモニウム(電子音響音楽の演奏装置)奏者として活躍する檜垣智也がデザインした音響空間でデヴィッド・トゥーブ、ランガム・リサーチ・センター、ベランジェール・マキシマン、武満徹らの音楽をお聴きいただけます。

◎スペシャル・コンサートのチケットで楽しめるプログラム

[特設サイト] www.borncreativefestival.com

「スペシャル・コンサート」のチケットをお持ちのお客様は無料でご参加いただけます。

8月24日(土)より申込受付を開始します。お申込み方法は、ボンクリフェス特設サイトをご覧ください。

※すべて0才より入場可。未就学児には高校生以上の保護者の同伴が必要です。

各定員あり
事前申込制(先着順)

デヴィッド・シルヴィアンの部屋 ①11:00~11:50 ②12:00~12:50 ③13:00~13:40 ④17:00~17:50 ⑤18:00~18:50 会場: リハーサルルームL(地下2階) デヴィッド・シルヴィアンがボンクリフェスのためだけに未発表音源を提供! サラウンド空間でお聴きいただけます。 ※各時間帯のプログラムなど詳細は、ボンクリフェス特設サイトをご覧ください。	電子楽器工作の部屋 11:00~13:00 講師: ジルベール・ノウノ(ボンビドー・センター(イルカム)研究員) 会場: ギャラリー2(5階) バリからやってきたハイテク音楽家のジルベールさんと一緒に電子楽器を工作して、最後にみんなで電子音楽を演奏してみましょう! ※手作り電子楽器代として、別途材料費をご負担いただきます。	ノマドの部屋 11:00~11:45 アンサンブル・ノマドメンバーによるコンサート 会場: シンフォニースペース(5階) 壺井一歩: 宮本正清の詩による音楽スケッチ「歌え 杜の小鳥」より/ジョン・ケージ: 居間の音楽/塩見允枝子: グランド・ピアノのためのフォーリング・イベント/高橋悠治: この歌をきみたちに
トーンマイスター石丸の部屋 12:30~13:15 講師: トーンマイスター石丸、関根愛 会場: シンフォニースペース(5階) 劇場の音響を統括するトーンマイスターと一緒に効果音やサウンドエフェクトづくりを体験し、新しい「音楽」の世界を探検するワークショップ	箏の部屋 16:20~17:05 演奏: 八木美知依、磯貝真紀、高橋弘子、小山ひとみ 会場: シンフォニースペース(5階) ジョン・ケージ: ある風景の中で/八木美知依: モンスーン/冨田勲: キャプテン・ウルトラ/クシシュツフ・コメダ: ローズマリーの赤ちゃん/八木美知依: ルージュ	プンクトの部屋 17:40~18:25 演奏: ヤン・バング、エリック・オノレ アイヴィン・オールセット、ニルス・ベッター・モルヴェル 会場: ギャラリー1(5階) ライブリミックスをコンセプトとした即興音楽祭「プンクト」が今年もやってくる! 北欧ジャズ/エレクトロニカの魅力を紹介するコンサート。

スペシャル・コンサート Special Concert

14:00開演(13:00ロビー開場) コンサートホール

コンサートホールでおこなう、出演者勢揃いのスペシャル・コンサート

藤倉大からのミニ・コメント



① これは僕の家の台所にあるラジオからたまたま流れてきた音楽。スペシャル・コンサートの最高のオープニングの曲だと思いました。

② 扶間さんの作品で何かできないかなとご本人とやりとりしたところ、おしゃれたサクソ四重奏があったので、今回の編成にあわせて弦楽四重奏に編曲していただきました。

③ 八木美知依さんとはもう10年以上も前から知り合いで、いつか一緒に演奏したいと思っていました。今回は地唄の発声を用いた歌と17絃箏の曲ということで、八木さんらしい何のジャンルにも属さない音楽だと思えます。

④ 恒例のノルウェーPUNKT軍団と僕によるライブ・リミックス、ニルス・ベッター、アイヴィン、僕が弾いたら、その音がヤンとエリックに即「取られて」、直前の八木さんの演奏の断片が聞こえてきます。

⑤ 僕自身も何回も演奏したことがあるし、聞いたことがある曲。今回はアンサンブル・ノマドの奏者の子供達、ノマドキッズも参加する予定です。

Program

1. モートン・フェルドマン: サムシング・ワイルド・イン・ザ・シティ — マリー・アンのテーマ(ホルン、チェルスタ、弦楽四重奏のための)
"Morton Feldman Collection, Paul Sacher Foundation, Basel"
2. 扶間美帆: 蠅(はやて)
3. 八木美知依: 通り過ぎた道
4. 「通り過ぎた道」PUNKTライブ・リミックス
5. テリー・ライリー: In C
6. 坂本龍一: honj I~III(日本初演)
7. 大友良英: 新作(世界初演)
8. 藤倉大: 春と修羅(映画「蜜蜂と遠雷」より)
9. 藤倉大: ホルン協奏曲 第2番(アンサンブル全編版世界初演)

出演

アンサンブル・ノマド(指揮: 佐藤紀雄)[1.2.5.7.9]
福川伸陽(ホルン)[9] 八木美知依(箏)[3.5] 本條秀慈郎(三味線)[6]
ヤン・バング(エレクトロニクス)[4] エリック・オノレ(エレクトロニクス)[4]
アイヴィン・オールセット(ギター)[4]
ニルス・ベッター・モルヴェル(トランペット)[4] 大友良英[7]
萩原麻未(ピアノ)[8] 藤倉大(エレクトロニクス)[4]

※都合により出演者・曲目・曲順等が変更になる可能性があります。

⑥ 本條秀慈郎さんが坂本龍一さんに作品を委嘱していたのを知っていたので、ぜひ! と思いこのコンサートで日本初演していただくことにしました。坂本龍一さんの三味線ソロの音楽、どんな曲なんでしょう!

⑦ 僕が単に一方的にファンな大友良英さん。僕もああいう風に音楽が作れたらなあ、といつも思いながらリハーサルの様子や、本番の演奏を見ている。

⑧ 映画「蜜蜂と遠雷」に出てくる架空の作曲家が書いた架空のピアノ曲「春と修羅」は僕が書いています。映画では4人のピアニストがそれぞれ違う即興のカデンツァを演奏しますが(その4つの即興も僕が作曲しています)、今回演奏をお願いした萩原麻未さんには「好きなバージョンを選んでください」と言っていて、今の時点でどのカデンツァを弾くのか、僕にも分かりません。

⑨ この作品はホルン奏者の福川伸陽くんが個人委嘱して下さった協奏曲。福川くん本人と長時間にわたって、どうやったらホルンっぽくない音がホルンから出せるのか実験をしました。「なんじゃこりゃ?」みたいな、いつものホルンの音じゃない音が満載です。

アンサンブル・ノマド(現代音楽アンサンブル)
Ensemble NOMAD / Contemporary music ensemble



ギタリスト佐藤紀雄の呼びかけによって集まった無類の個性豊かな演奏家によって結成されたアンサンブル。「NOMAD」(遊牧、漂流)の名にふさわしく、時代やジャンルを超えた幅広いレパートリーを自在に採り上げ、斬新なアイデアやテーマによるプログラムによって独自の世界を表現するアンサンブルとして内外から注目されている。

佐藤紀雄(指揮・ギター)
Norio Sato / Conductor, Guitar



ギター奏者として古典のレパートリーのほか武満徹、高橋悠治、近藤譲、松平頼暁、福士則夫などの作品の世界初演を手掛け、また指揮者としても内外の現代作品の演奏、初演を行っている。1997年にアンサンブル・ノマドを結成し、音楽監督に就任。ソロ、アンサンブルのCDも多数リリースしている。

福川伸陽(ホルン)
Nobuaki Fukukawa / Horn



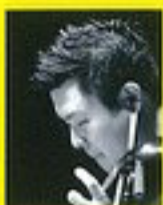
NHK交響楽団首席ホルン奏者。ソリストとして、リサイタル、協奏曲演奏などを日本各地で行う。「ホルンのレパートリーの拡大」をライフワークとして、作曲家への委嘱活動や、珍しい室内楽の紹介を積極的に行っており、吉松隆、藤倉大、鈴木優人他多数の作曲家から作品を献呈されている。東京音楽大学兼任准教授。

八木美知依(箏)
Michiyo Yagi / Koto



邦楽はもちろん前衛ジャズや現代音楽からロックまで幅広く活動するハイパー箏(こと)奏者。多くのジャズ・フェスティバルのステージに立ち、世界中の優れた即興家と共演を続けるかたわら、J-POPアーティストのステージや録音にも参加。英ワールドミュージック誌Songlinesの「世界の最も優れた演奏家50人」に選ばれている。

本條秀慈郎(三味線)
Hidejiro Honjo / Shamisen



本條秀太郎氏に師事し、本條秀慈郎の名を許される。桐朋学園短期大学卒業。在学中故郷屋敷芳壽氏に師事。現在同大学講師。現代邦楽研究所修了。ACCフェローによりニューヨークへ留学。文化庁文化交流使に任命され、アンサンブル・モダン、アンサンブル・アンテルコンタンポランらと共演する。現代の三味線音楽を模索している。

ヤン・バング(エレクトロニクス)
Jan Bang / Electronics



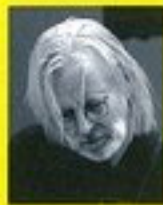
音楽家、レコードプロデューサー。ノルウェー南部の町クリスチャンサンで育ち、同郷の音楽家エリック・オノレと音楽活動始める。2005年からはライブリミックスをコンセプトとした即興音楽祭「ブント」を立ち上げ、現代ノルウェーで最も革新的な音楽家の1人として活躍している。

エリック・オノレ(エレクトロニクス)
Erik Honoré / Electronics



作家、音楽家、レコードプロデューサー、サウンドエンジニア。音楽祭「ブント」の共同設立者。2017年に最新ソロアルバム「UNREST」をリリース。

アイヴィン・オールセット(ギター)
Eivind Aarset / Guitar



現在ノルウェーで最も人気のあるギタリストの1人。デビュー作「Electronique Noir」は「マイルス以後のエレクトリック・ジャズで最も優れたもの」(ニューヨーク・タイムズ)と評されている。

ニルス・ペッター・モルヴェル(トランペット)
Nils Petter Molvær / Trumpet



ノルウェー出身のジャズトランペッター、作曲家、レコードプロデューサー。ジャズと電子音楽を融合させたフューチャー・ジャズのパイオニアとして作品を発表し続けている。

大友良英(作曲)
Yoshihide Otomo / Composition



ターンテーブル奏者、ギタリスト、作曲家。実験的な音楽からジャズやポップス、NHKの朝の連続小説「あまちゃん」の作曲など作風は多種多様。日本はもとより世界各地で多くのアーティストとコラボレーションを行う。NHK大河ドラマ「いだてん」の音楽を担当する。

萩原麻未(ピアノ)
Mami Hagiwara / Piano



2010年第65回ジュネーヴ国際コンクール(ピアノ部門)において、日本人として初めて優勝。これまでに、スイス・ロマン管、南西ドイツ放送管等の主要オーケストラと多数共演を重ねているほか、ヨーロッパ各地の様々な音楽祭に招かれている。

東野珠実(笙)
Tamami Tono / Sho



雅楽を芝祐晴に師事。笙奏者として、90年より国立劇場主催公演をはじめ、ウィーンモデルン等に出演。Yo-Yo MA、坂本龍一、田中派らに招聘されるなど、古典から新作まで幅広いジャンルで創作・演奏を通じ活動を展開。

ボンクリ "Born Creative" Festival 2019
2019.9.28(土) 東京芸術劇場

ボンクリ・フェス2019 公式ツイッター
@BornCreativeFes



スペシャル・コンサート チケット料金 全席指定(税込)	S席 ¥3,000	A席 ¥2,000	U25 ¥1,000 (25歳以下S・A席共通)
----------------------------------	-----------	-----------	-----------------------------

*一部携帯電話、PHS、IP電話からは、ご利用いただけません。*スペシャル・コンサートへの未就学児のご入場はお断りいたします。未就学児をお連れのお客様は、コンサートホールのロビー内でスペシャル・コンサートを中継モニターでご鑑賞いただけるスクリーンチケットをご購入ください。*障害をお持ちの方は、割引料金でご鑑賞いただけます。詳細は東京芸術劇場ボックスオフィスまでお問合せください。(要事前予約)

(チケット取り扱い・お問合せ)

東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296(電話・窓口 休館日を除く10:00~19:00)

<http://www.geigeki.jp/t/> *24時間受付(メンテナンスの時間を除く)

- ◆チケットぴあ <https://pia.jp/t/geigeki/> 0570-02-9999(Pコード:150-214)
- ◆ローソンチケット <https://l-tike.com/> 0570-084-003(Lコード:33754)
- ◆イープラス <https://eplus.jp/geigeki/> ◆peatix <https://borncreativefes2019.peatix.com/>



[東京芸術劇場託児サービス]
(有料・定員制・土日祝を除く希望日1週間前迄に要申込)
HITOWA キャリアサポート株式会社わらべうた
Tel.0120-415-306(平日9:00~17:00)

東京芸術劇場 <http://www.geigeki.jp/>
Tokyo Metropolitan Theatre

〒171-0021 東京都豊島区西池袋1-8-1
Tel.03-5391-2111(休館日を除く9:00~22:00)

JR・東京メトロ・東武東上線・西武池袋線 池袋駅西口より徒歩2分。
池袋駅地下通路2b出口で直結しています。

スクリーンチケット ¥2,000(要事前申込・定員あり)

未就学児をお連れのお客様を対象に、コンサートホールのロビー内でスペシャル・コンサートを中継モニターでご鑑賞いただけるチケットです。コンサートホールにお入りいただけない小さなお子さまと一緒に「ボンクリ」音楽をお楽しみいただけます。

●スクリーンチケットをお持ちの方は開演15分前(13:45)にコンサートホール・エントランス(5階)にご集合ください。●東京芸術劇場ボックスオフィス(電話・窓口)のみ取り扱い。●スクリーンチケット1枚につき、未就学児2名までご入場いただけます。

●未就学児がご来場できなかった場合には、3階後方(A席)でスペシャル・コンサートをお聞かせいただけます。●未就学児には、必ず高校生以上の保護者のご同伴ください。●会場内にベビーカーはお持ち込みいただけません。コンサートホール入口フロアにベビーカー置き場をご用意いたします。●配信中継イベントのため、通信環境等の諸事情により、画像・音声の乱れが生じる場合があります。

映画「蜜蜂と遠雷」

10月4日全国公開

史上初の直木賞&本屋大賞W受賞作が遂に映画化! 国際ピアノコンクールに集まった4人の天才ピアニストたちの、戦いと成長の物語。

出演: 松岡茉優、松坂桃李、森崎ウィン、鈴鹿央士

原作: 恩田陸「蜜蜂と遠雷」(幻冬舎文庫)

監督・脚本・編集: 石川慶 「春と修羅」作曲: 藤倉大

ピアノ演奏: 河村尚子、福岡洗太郎、金子三勇士、藤田真央

主催 = 文化庁、公益財団法人東京都歴史文化財団
企画制作 = 東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)
助成 = 公益財団法人 ロームミュージックファンデーション

文化庁委託事業
「2019年度戦略的
芸術文化創造推進事業」

機材協力 = ポーズ合同会社
協力 = サントリーホールディングス株式会社

東京芸術劇場
TokyoTokyo
FESTIVAL